

人と人 地域と地域を 結ぶ二つの橋完成！



二本松市側でテープカットが行われた後、本宮市側へ渡り初めを行いました



テープカットが行われた後、渡り初めが行われました



二本松市側から菅田橋を見る



テープカットの様子

和田小学校鼓笛隊の皆さん



(右) 昭和42年に完成した旧菅田橋の開通式の様子

(左) 旧菅田橋が完成するまで運航していた渡し船。奥に完成した旧菅田橋が見える

菅田橋の完成を祝う！

10月2日、菅田橋の開通式が行われ、高松市長はじめ、多くの関係者で渡り初めを行い、完成を祝いました。
旧菅田橋は、昭和42年に完成した橋で、和田地区と二本松市杉田地区を結ぶ重要な橋として利用されてきましたが、幅員が狭く車のすれ違いも危険な状況でした。
新菅田橋は、橋長148.5m、

全幅10mで片側歩道も整備されました。
開通式では関係者によるテープカットが行われ、本宮市と二本松市から一組ずつ三代夫婦による渡り初めが行われました。
また、和田小学校鼓笛隊による演奏で開通式に華を添えました。



開通式で式辞をのべる高松市長

10月17日、東北本線にかかる市道堀切・赤坂線名郷跨線橋の開通式が行われ、高松市長はじめ、多くの関係者で渡り初めを行い、完成を祝いました。
旧名郷橋は、幅員2.5m、重さ2ト、2.4mの高さ制限のある道路でした。このため、車のすれ違いができない状態でした。
新しい名郷跨線橋は、橋長42.4m、全幅9.25mで片側歩道も整備されました。
開通式では関係者によるテープカットが行われ、関係者と本宮第1保育所園児が渡り初めを行いました。
また、本宮小学校鼓笛隊による演奏で開通式に華を添えました。



本宮第1保育所の皆さんとまゆみちゃんも一緒に渡り初め



開通を記念して風船を大空に放ちました



テープカットの様子



完成した名郷跨線橋



本宮小学校鼓笛隊の皆さん



三代夫婦で渡り初めを行った三浦さんご一家

三浦新市さんコメント

私が小学5年生の時、旧菅田橋が完成しました。それ以前は、渡し船で二本松市を行き来しており、その時の事も覚えています。今回、新しい菅田橋の渡り初めをさせていただきました。無量です。一生の思い出となりました。私の子どもや孫たちも、きつといつまでも覚えていてくれると思います。